

学校教育目標 「つよいきずなで よさをのぼそう」
重点目標 「すすんで やる子」

感謝の気持ちと優しさが溢れた「6年生ありがとうの会」

校長 望月 秀一

今年の冬は例年になく厳しい寒さで、学校のプールも小プールのみならず大プールも凍るときもありました。そのためか、南校舎の東にある紅梅と河津桜がようやく花を開かせ、咲き競うように春の到来を告げています。競い合うと言えば、日本中に感動を与えてくれた冬季オリンピックでの日本人選手たちの活躍には目を見張るものがありました。メダル獲得も嬉しいことですが、私が感動したのは、どの選手たちも、「多くの人々の支えに感謝する姿や相手を思いやる心。その相手はライバルの選手だったり、チームメイトだったり・・・」改めて、日本人の互に尊重し、共生していくすばらしさを再確認でき、誇りに思えたオリンピックでした。



学校では、お世話になった6年生に感謝と卒業を祝う気持ちを伝えようと、「6年生ありがとうの会」を行いました。5年生が中心となり、企画・準備・運営に取り組み、心温まる感動的な会になりました。階段や廊下には、6年生への温かなメッセージが溢れ、1年生の描いた似顔絵に微笑んだり、きれいに飾られた掲示物に目を細めたりと、6年生の喜ぶ姿が見られました。当日は3部構成で会を進めました。



【第1部 6年生ありがとうの会】

1年生は、6年生をエスコートして入場しました。歌と寸劇で6年生との思い出を振り返りました。1年間の成長が見られ、笑顔が可愛かったです。

2年生は、6年生との思い出を替え歌にして、手話を交えて生き生きと歌いました。折り紙で作ったメダルのプレゼントは、6年生の胸に輝いていました。

3年生は、音楽科で学習したリコーダーを演奏しながら入場し、6年生の活躍を寸劇で表しました。きびきびとした演技に、さわやか風が吹いていました。

4年生は、ありがとうの気持ちを歌に込めて、「どんなときも」を振付と歌で表現しました。一生懸命な気持ちが歌声に表れとてもきれいでした。アーチ係も頑張りました。

5年生は、6年生一人一人を映像で映しながら、委員会活動やにこにこ活動での思い出をメッセージに添えて伝えました。5年生の成長と併せて、6年生の照れながらも嬉しそうな顔が印象に残っています。

6年生は、下級生のお礼に、「ジュピター」を演奏しました。下級生を思いやる優しさを演奏に込めて、見ている私たちを魅了しました。最後にサプライズで先生方から「さくら」の合唱がありました。



【第2部 たてわりランチタイム】

6年生を囲んで、縦割りグループごとに楽しくお弁当を食べました。1年間一緒に活動してきた6年生とのランチタイムは、いつものお弁当以上においしかったようです。6年生と一緒に食べられた満足感で子どもたちの笑顔が一層輝いていました。



【第3部 にこ活拡大版】

にこ活とは、にこにこ活動の略称で、毎月1回縦割りグループで遊びを決めて活動しています。今回は、運動場で全校児童一緒に遊ぶという企画で「けいどろ」を行いました。温かな春の日差しのもと、楽しいひと時を過ごしました。

改めて、学校のすばらしさを実感した思いでいます。学校だからこそできる楽しさや喜びを「6年生ありがとうの会」を通して、どの子も学んだことと思います。



明日から、3月に入ります。子どもたちの相手を思いやる優しい気持ちを大切にしながら、節目の月を迎えたいと思います。今後も、より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。